

第9回 有明地域新設小学校 新しい学校づくり準備委員会 次第

日 時：令和7年6月3日（火）19時～
場 所：交流館 第1号会議室

1 開 会

2 教育長挨拶

3 委員長挨拶

4 報告事項

- （1）総務部会
- （2）組織部会
- （3）学校運営部会

5 協議事項

- （1）協議第29号 児童の統一感を出すための物品購入について
- （2）協議第30号 令和6年度保護者説明会で寄せられた意見・質問について
- （3）協議第31号 通学路について
- （4）協議第32号 スクールバスについて

6 連絡事項

- （1）準備委員会（全体会）次回開催日について【 月予定】
月 日（ ）19時～
- （2）その他

7 閉 会

有明地域新設小学校新しい学校づくり準備委員会 部会 委員名簿

部会名	校区名	氏 名	区分	
総務部会 (12)	有明東小 (4)	片 渕 文 徳	校長	
		山 口 豪	教務主任	
		藤 田 紗 知 子	保護者選出	
		諸 岡 利 公	地域住民選出	
	有明西小 (4)	小 野 稔	校長	
		古 川 万 里	教務主任	
		宮 島 賢 介	保護者選出	
		一 ノ 瀬 弘 道	地域住民選出	
	有明南小 (4)	與 賀 田 忠 倫	校長	
		松 浦 久 美 子	教務主任	
		喜 岡 純 一	保護者選出	
		岩 永 も と 子	地域住民選出	
組織部会 (8)	有明東小 (2)	荒 川 恵 美	教頭	
		野 中 慎 吾	保護者選出	
	有明西小 (3)	眞 崎 靖	教頭	
		内 野 恵 里	保護者選出	
		小 笠 原 加 代 子	地域住民選出	
	有明南小 (3)	山 崎 直 彦	教頭	
		小 野 都 貴 子	保護者選出	
		相 浦 聖	地域住民選出	

有明地域新設小学校新しい学校づくり準備委員会
第 7 回総務部会 会議結果概要報告書

部 会 名	第 7 回総務部会
開催日時	令和 7 年 5 月 22 日（木） 19 時 00 分～20 時 00 分
開催場所	交流館 2 階第 8 号室
出席者 （敬称略）	委 員：9 名 事務局：永石、川畑、本山、武富、川崎
協議の概要	<p>【報告事項】</p> <p>1 校歌についての報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制作された校歌を総務部会の委員で確認を行い、有明東小学校の 6 年生に協力してもらい実際に歌ってもらう。その感想・意見を弓削田さんに伝える。完成した作品のまま採用することに決定。 ・ 弓削田さんから頂いた歌詞と、デモ音源で歌われている歌詞に相違があり、確認を行う。 （確認：制作者弓削田さんより修正したものを送付してもらう・・・別添） <p>2 校章について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業者に依頼し、文字の調整を行い、5/19 に校舎の壁面に設置完了している。 ・ 今後は、校旗の制作に取り掛かり、背景の色も検討していく。 （スクールカラーを取り入れてみてはどうか） ・ 名前札に校章を入れるようにし、素材は現行のものと同じようなもので作るようにしたい。 <p>【協議事項】</p> <p>1. 児童の統一感を出すための物品購入について</p> <p>統一感を出すためには T シャツやポロシャツか適しているのではないかと。しかし、次年度の 1 年生はどうするのかとの声も聞かれたが、今回は、「開校記念品、R 8 年度限り」として準備すると決定。物品については、学校との協議を進め検討する。</p> <p>2. 令和 6 年度保護者説明会で寄せられた意見・質問について</p> <p>Q) 指定ではないのに なぜ通学用帽子があるのか？ 低学年は白かぶり、高学年は赤かぶり の被り方はわかりやすく良いと思う</p> <p>A) 有明地域 3 小学校では通学用帽子を採用しています。新設小学校でも、安全面、熱中症対策の観点から、登下校時に帽子を被ることとしています。赤白帽子を通学用として使用することは問題ありません。</p> <p>Q) 体操服の名前ゼッケンは 個人情報等でつけない！ となったみたいですが、胸の方にアイロンでつけるタイプで 小さく苗字だけ。ではダメでしょうか？ ビリッと外せばお下がりしやすいですし、そんなに個人情報が怖いなら ゼッケン?名前札?つけるつけないの 判断は個人で決めるのは どうですか？ 合併し人数も増えるわけですし 親としても先生としても この子が誰なのか知る事が必要かと…</p> <p>A) 声掛け事案の発生により、登下校中は名前札を外すこととしています。また、最近のテレビでの学校行事の放送などにより、他者からの不適切な関心や接触を招くリスクを避ける必要があります。子どもたちの安全を確保するために、個人情報の取り扱いには細心の注意が求められます。個人の識別が必要な場合は、状況に応じてテープなどを使って名前札として対応することも可能なため、基本的には体操服にゼッケンは付けないこととしています。ご理解をお願いします。</p> <p>Q) 開校前に校内見学はされますか？</p> <p>A) 校舎の改修工事終了後、校舎を開放し、学校の雰囲気を経験できるようオープンスクールの開催を検討しています。</p>
そ の 他	<p>◆ 第 8 回総務部会の開催日について</p> <p>ほとんどの協議事項が決定しているため、今回で終了とし、必要に応じて全体会での協議の中で話し合うようにしていく。</p>

新しい学校づくり準備委員会 第8回組織部会 会議結果概要報告書

会 名	第8回組織部会
開催日時	令和7年5月13日（火） 19時00分～20時00分
開催場所	交流館 2階8室
出席者 （敬称略）	委員：6名 事務局：永石、川畑、本山、武富、川崎
協議の概要	<p>（1）通学路について</p> <p>1 通学路（案） 別添図面</p> <p>令和7年1月～2月にかけて、3小学校で保護者説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路については特に異議はなかった。 <p>2 通学の考え方</p> <p>（1）基本的に旧小学校区を通学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校区を通っていけないことはない。 <p>（例）島津地区・・・坂田方面から登校</p> <p>（2）最終的に幹線通学路へ出るが、それまでの経路は登校班（保護者）で安全面を考慮し検討。</p> <p>（例）幹線通学路には入れていない廻里江川沿いを通り、幹線通学路へ出る。</p> <p>（3）集団登校を推進。</p> <p>3 R7年度の予定</p> <p>（1）通学路整備</p> <p>区画線や注意喚起等の路面標示が中心</p> <p>（2）登校班（案）の構成</p> <p>（3）立哨指導のお願い</p> <p>PTA、交通安全指導員、地域の方（見守り隊、学校運営協議会 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有明東小学校、有明西小学校は、登校班がすでにあるため戸惑いは少ないと思うが、有明南小学校は登校班を整理して9月～実施する。 ● 登校班が決まり次第詳細を決める。そこでスクールバス利用者も決められる。 ● 線路のわたり方の指導も必要 <p>（2）スクールバスについて</p> <p>1 通学支援（案） 別添図面</p> <p>令和7年1月～2月にかけて、3小学校で保護者説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学支援（対象距離2.5km等）については特に異議はなかった。 ・2.5km以上、未満がある地域の方から個別に話はあり。 <p>2 通学支援対象の考え方について（2.5km以上、未満が混在する地域）</p> <p>①東小校区 東上、新通、中央、日登、大和</p> <p>②西小校区 廻里、高町、辺田、島津</p> <p>③南小校区 坂田、深浦東分</p> <p>（1）地区内で対象者と対象外者が出てくることにより、登校班の維持が困難な場合は、2.5km未満であっても配慮する。</p>

	<p>(2) 最短距離ではなく実際に通学する経路で測定する。</p> <p>◆通学路の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道がある道路を優先 ・国・県道、幹線道路(2車線道路)は横断歩道が無い所は渡らない。 ・旧小学校区単位での集団登校を基本とする。 ・その他交通ルールの順守(右側通行等) <p>◆個別事例</p> <p>3 スケジュール</p> <p>(1) R7. 6月3日 全体会 支援対象者の決定 (地図上に児童の位置を落とし、検討・決定)</p> <p>(2) R7. 7月 支援対象者へ通知、説明会の開催 停留所の検討</p> <p>(3) R8. 2月 説明会(運行ルール、保護者の協力お願い) 利用申請書提出</p> <p>(4) R8. 3月 運行準備(試走)※児童を実際、乗せて試走も行う。</p> <p>☆ 通学支援の考え方、登校班を基準に個別に検討していく。一人にならないように。</p> <p>☆ バス停については地域の方の意見を聞きながら決めていく</p>
そ の 他	<p>1 第8回組織部会の開催日について</p> <p>ほとんどの協議事項が決定しているため、今回で終了とし、必要に応じて全体会での協議の中で話し合うようにしていく。</p>

**有明地域新設小学校 新しい学校づくり準備委員会 第10回学校運営部会
協議結果概要報告書**

部 会 名	第10回 学校運営部会
開催日時	令和7年5月12日（月） 15時00分 ～ 16時30分
開催場所	有明南小学校 パソコン室
出席者 （敬称略）	委 員：9名（校長・教頭・教務主任）、事務職員4名 事務局：本山、川崎、武富
協議の概要	<p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> R7学校運営部会活動計画について 次回校務分掌部会について 事務職員部会より <p>【協議結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> R7学校運営部会活動計画について <ol style="list-style-type: none"> 校務分掌部会組織とメンバーの再編成 いきいき部会、すこやか部会、教務主任部会、特別支援教育部会、養護教諭部会、司書部会、事務職員部会 2部会今後の検討課題の確認 各部で「4月当初の提案文書」、「1学期主要行事の提案文書」を作成。 ふれあい郷プールの利用について 閉校式・開校式について <ul style="list-style-type: none"> ・3月24日（火）閉校式 ※午前中に修了式（辞任式） 児童弁当持参 ※卒業生も参加 ・4月9日（木）開校式 4月10日（金）始業式 4月15日（水）入学式 次回校務分掌部会（6／4）について <ol style="list-style-type: none"> 4月当初の提案文書等の確認 新たに作成が必要な文書の検討と役割分担 事務職員部会より <ol style="list-style-type: none"> 物品の搬入先について 今後の予定 <ul style="list-style-type: none"> ・引越し物品リストの作成（7月） ・物品の確認（夏季休業中） ・引越し準備委員会（8月設置予定）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 今後のスケジュールについて <ol style="list-style-type: none"> 第5回校務分掌部会 6月4日（水）15：00 以後、下記の通り校務分掌部会を開催。 7／16（水）、8／4（月）、8月下旬（拡大部会）、9／17（水） 11／5（水）、12月下旬（拡大部会）

児童の統一感を出すための物品購入について

1.開校記念品として児童の統一感を出すための物品購入の検討

開校時は、新旧の制服・体操服が混在している。

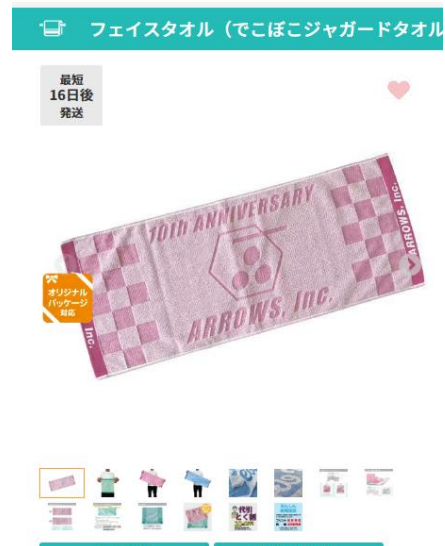
何か 1 つでも揃えて児童の統一感の形成を図りたい。

※ 予算：2,000 円×300 人分=600,000 円

※ 案：Tシャツ・タオル・オリジナルリュックサック・ポロシャツ 等

※ 総務部会での協議の結果:「開校記念として令和 8 年度限り」として準備する。
ポロシャツ・Tシャツが適しているのではないか。

(参考)



これまでに寄せられた質問

制服・体操服・学校指定備品に関すること

	保護者からの質問	回答
Q1	上靴に加えて体育館シューズも必要になると経済的に負担が大きくなるのではないのでしょうか。	有明小学校（旧有明中学校）の体育館は県内の大きな大会でも使用されるので、床をきちんと維持管理しなくてはなりません。そのため、上靴とは別に体育館専用となりますが、ご理解をお願いします。
Q2	いろいろとお金がかかるので、体育館シューズは高いものにならないよう、学校で指定する方がよいのではないのでしょうか。	他校の状況もあるので、保護者の皆様方の意見を参考にしながら今後検討したいと思います。
Q3	制服や体操服は、制服組合から購入することになりますか。	制服組合での購入となります。有明地域の児童は、有明地域の取扱店2店（岡衣料・田島屋）で各自購入することになります。
Q4	制服の長ズボンは、校内でも履いてよいのですか。	今現在、防寒対策として制服の半ズボンに制服ではない市販の長ズボンを履いて登校し、校内では脱ぐようにしています。今回、制服の長ズボン（希望購入）を履く場合は、シーズン関係なく校内で履いてよいこととなります。
Q5	指定ではないのに なぜ通学用帽子があるのか？？ 低学年は白かぶり、高学年は赤かぶり の被り方はわかりやすくして良いと思う	有明地域3小学校では通学用帽子を採用しています。新設小学校でも、安全面、熱中症対策の観点から、登下校時に帽子を被ることとしています。赤白帽子を通学用として使用することは問題ありません。
Q6	体操服の名前ゼッケンは 個人情報等でつけない！ と なったみたいですが、 胸の方にアイロンでつけるタイプで 小さく苗字だけ。ではダメでしょうか？ ビリッと外せばお下がりしやすいですし、そんなに個人情報に怖いなら ゼッケン??名前札？ つけるつけないの 判断は個人で決めるのは どうですか？？ 合併し人数も増えるわけですし 親としても先生としても この子が誰なのか知る事が必要かと…	声掛け事案の発生により、登下校中は名前札を外すこととしています。また、最近のテレビでの学校行事の放送などにより、他者からの不適切な関心や接触を招くリスクを避ける必要があります。子どもたちの安全を確保するために、個人情報の取り扱いには細心の注意が求められます。個人の識別が必要な場合は、状況に応じてテープなどを使って名前札として対応することも可能なため、基本的には体操服にゼッケンは付けないこととしています。ご理解をお願いします。

これまでに寄せられた質問

その他に関すること

	保護者からの質問	回答
Q1	放課後児童クラブはどこにできるのですか。	今現在、有明小学校（旧有明中学校）敷地内の部室や駐輪場があるところに建設予定です。
Q2	開校前に校内見学はされますか？	校舎の改修工事終了後、校舎を開放し、学校の雰囲気体験できるようオープンスクールの開催を検討しています。

幹線通学路について

1 通学路（案） 【別添 図面1】

令和7年1月～2月にかけて、3小学校で保護者説明会の開催

- ・通学路については特に異議はなかった。

2 通学の考え方 【別添 図面1】

(1)基本的に旧小学校区を通学する。

- ・保護者判断で他校区を通っていけないことはない。

（例）島津地区・・・坂田方面から登校

(2)最終的に幹線通学路へ出るが、それまでの経路は登校班（保護者）で安全面を考慮し検討。

（例）幹線通学路には入れていない廻里江川沿いを通り、幹線通学路へ出る。

(3)集団登校を推進

登校班の最低人数 ○～○人程度（構成学年も考慮）

3 R7年度の予定

(1)通学路整備

区画線や注意喚起等の路面標示が中心

(2)登校班（案）の構成

(3)立哨指導のお願い

PTA、交通安全指導員、地域の方（見守り隊、学校運営協議会 等）

有明小学校 幹線通学路（案）

○原則、通らない箇所

- ・ 国道207号 廻里津商店街(歩道が無い所)
高島病院付近 ～ 藤武花屋付近
- ・ 町道高町百貫線 峠道(歩道が無い所)
有明南小西側、石滝製菓前

○通学路の考え方

- ・ 歩道がある道路を優先する。
- ・ 国・県道は原則として歩道が無い所は通らない。
- ・ 国道、県道、幹線道路は横断歩道のない所は渡らない。
(2車線道路)
- ・ 自宅より安全を優先し、幹線通学路に向かう。

— 通学路（案）
×—× 原則、通らない道

スクールバスについて（案）

1 通学支援（案） 【別添 図面 2】

令和 7 年 1 月～2 月にかけて、3 小学校で保護者説明会の開催

- ・通学支援（対象距離 2.5 km 等）については特に異議はなかった。
- ・2.5 km 以上、未満がある地域の方から個別に話はあり。

2 通学支援対象の考え方について（2.5 km 以上、未満が混在する地域）

- ①東小校区 東上、新通、中央、日登、大和
- ②西小校区 廻里、高町、辺田、島津
- ③南小校区 坂田、深浦東分

（1）通学距離 2.5 km 以上の児童は全て支援の対象とする。

- ・スクールバスか同地区の児童と集団登校で行くかは選択。

（2）地区内で対象者と対象外者が出てくることにより、登校班の維持が困難な場合は、2.5 km 未満であっても配慮する。

（3）最短距離ではなく実際に通学する経路で測定する。

◆通学路の考え方

- ・歩道がある道路を優先
- ・国・県道、幹線道路（2 車線道路）は横断歩道が無い所は渡らない。
- ・旧小学校区単位での集団登校を基本とする。
- ・その他交通ルールの順守（右側通行等）

（4）安全面を考慮する地域

- ・有明南小学校前の町道高町百貫線（峠道）の歩道が無い所は安全面を考慮し通らない。国道 207 号経由で距離判断する。
- ・有明東小東側の国道 444 号は安全面を考慮し通らない。

3 通学支援対象者について 別添資料 参照

(1) 対象児童数 (案)

①東小学校区 32人

②西小学校区 36人

③南小学校区 33人

計101人

※各小学校区バス児童定員 33人

(マイクロバス21人、14人乗り12人)

(2) 定員オーバー対策

①マイクロバスの補助席を使用する。(＋3～6人)

②14人乗りを白石中学校で利用し、中学校のマイクロバスを有明小で利用

※白石中学校 R8 スクールバス対象人数見込み

・新明方面 13人

・牛間田方面 13人

③33人以下となるように対象者を減らす。

4 スケジュール

(1) R7. 6月3日 全体会 支援対象者の決定
(地図上に児童の位置を落とし、検討・決定)

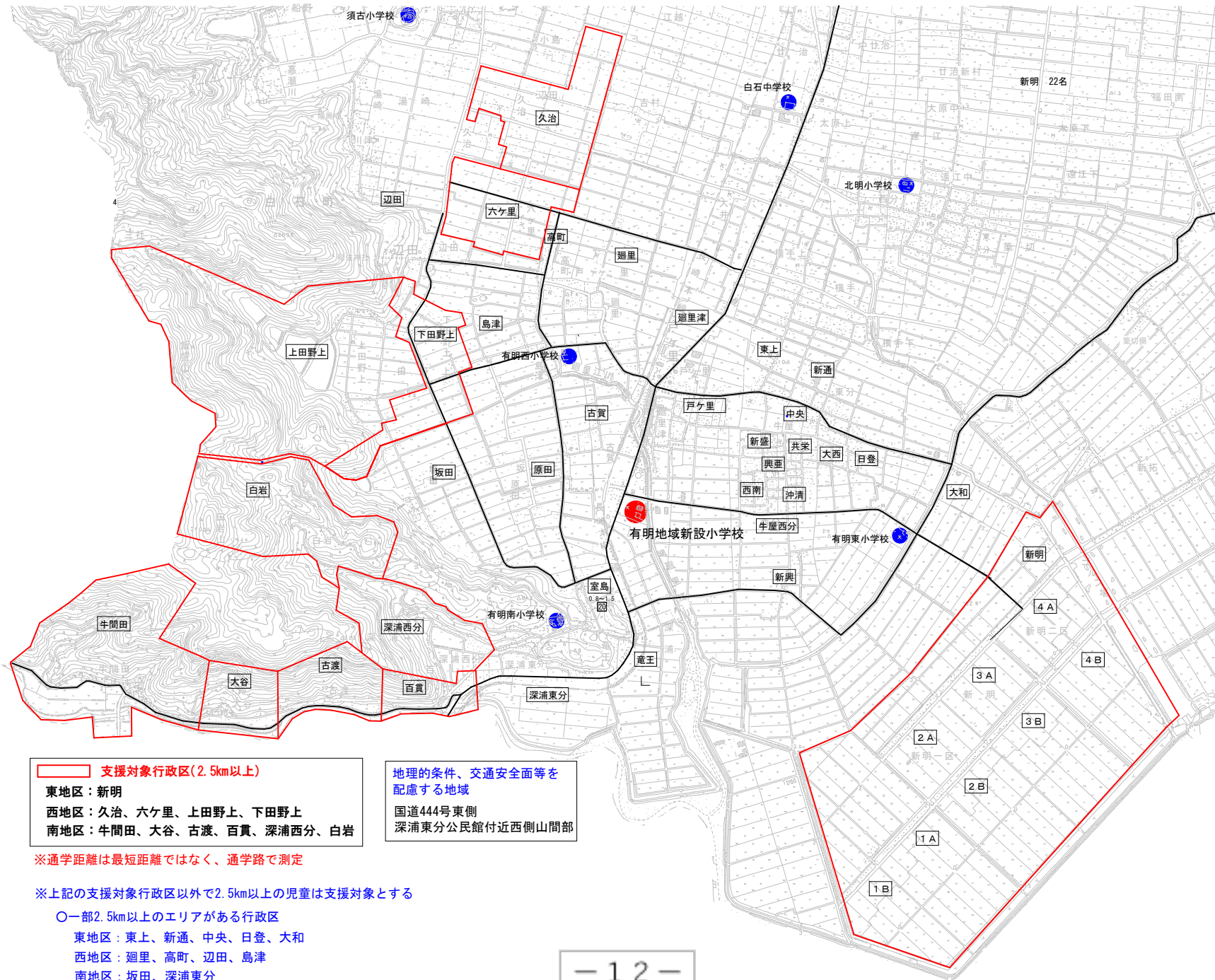
(2) R7. 7月 支援対象者へ通知、説明会の開催
停留所の検討

(3) R8. 2月 説明会(運行ルール、保護者の協力お願い)
利用申請書提出

(4) R8. 3月 運行準備(試走)※児童を実際、乗せて試走も行う。

有明小学校 通学支援対象地区図（案）

図面2



稲佐の山が にこにこと

みどりの大地 歌いながら

きらめくいのち 見守ってる

わたしをぼくを はげましてる

白石ぜんぶが 学び舎だ

地球のぜんぶが ステージだ

希望がうまれる みんなのふるさと

歴史のバトンを こころに灯して

有明の海になって

有明の空になって

金色に 輝こうよ

にじ色で 手をつなごう

出会いの宝物 きみと

学ぼう 幸せのリボン

明日へ 渡せますように

未来に渡せますように

有明の風になって

世界に吹きわたれ

笑顔の贈り物 きみと

明日へ 渡せますように

作詞：白石町のみなさん&弓削田健介

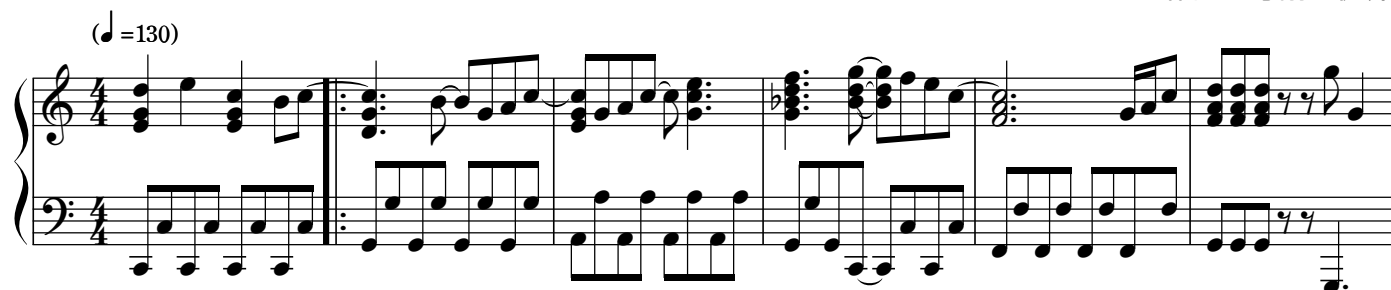
作曲：弓削田健介

有明小学校 校歌

別添2

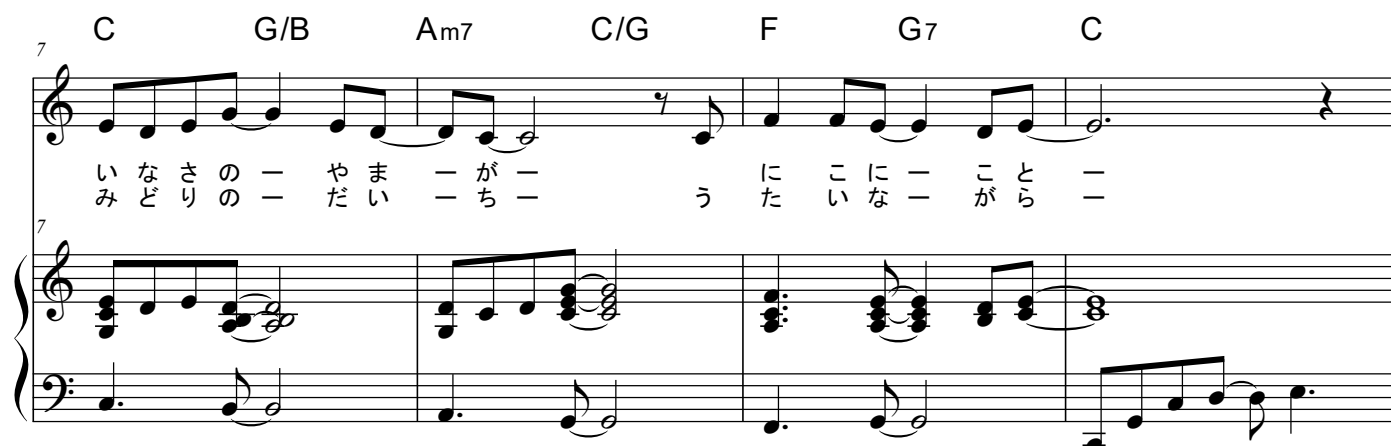
作詞：白石町のみなさん&弓削田健介
作曲：弓削田健介

(♩=130)



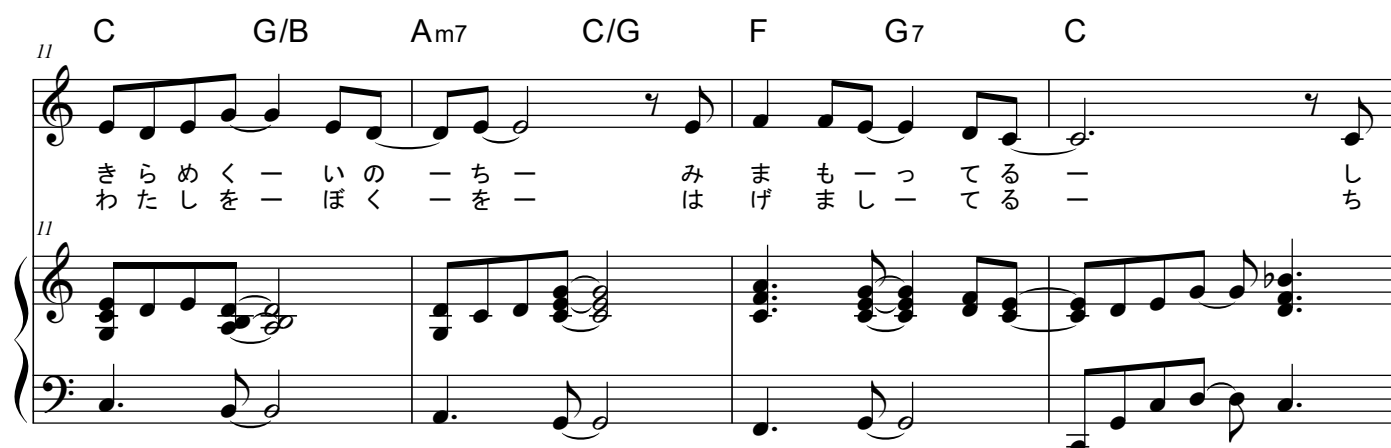
7 C G/B Am7 C/G F G7 C

い な さ り の - や ま い - が - う に こ に - こ と ら -
み ど り の - だ い - ち - う た い な - が ら -



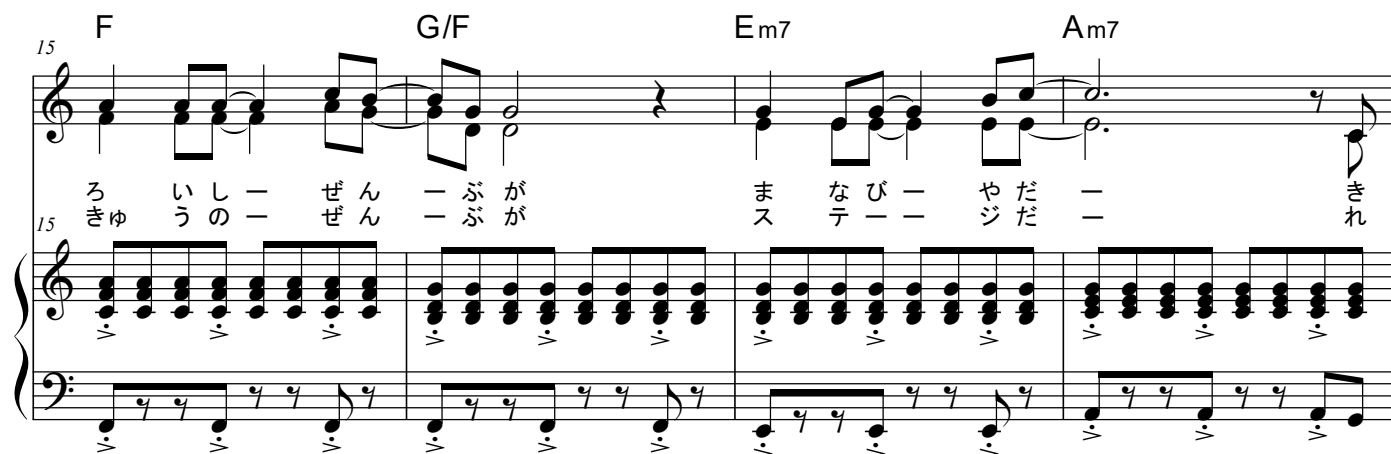
11 C G/B Am7 C/G F G7 C

き ら め く - い の - ち - み ま も - っ て る - し
わ た し を - ぼ く - を - は げ ま し - て る -



15 F G/F Em7 Am7

ろ い し - ぜ ん - ぶ が ま な び - や だ - き
き ゆ う の - ぜ ん - ぶ が ま テ - ジ だ - れ



19 F Em7 Am7 D D/F# G

ぼ う が ー
 ぎ し の ー
 う ま れ る ー
 バ ト ン を ー
 み こ ん こ な る の ー
 ふ と る さ と ー
 し て ー

23 C G Am7 Gm7 C7

あ り あ け の ー う み に な っ て き ん じ ろ に ー か て が や こ う ー よ で あ い の
 あ り あ け の ー そ ら に な っ て に じ ろ に ー か て が や こ う ー よ で あ い の
 ふ き わ た ー れ ま え が お の

28 F C/E Eb Ab Bb C

ー た か ら も の ー き み と ー あ し た へ わ た ー せ ま す よ ー う に ー
 ー し あ わ せ の ー リ ボ ン ー み ら い に わ た ー せ ま す よ ー う に ー
 ー お く り も の ー き み と ー あ し た へ わ た ー せ ま す よ ー う に ー

33 C G C G

あ り あ け の ー か ぜ に な っ て せ か い に

Am7 F#m7 Eb Ab Bb C

37 3. — あした へわた—せ ますよ—うに —

白石町有明小学校 校歌 歌詞に込めた想い(解説)

1. 稲佐の山が にこにこと きらめくいのち 見守ってる

アンケートで人気だった「稲佐山」を、子どもたちを温かく見守る存在として描きました。低学年のアンケートから「にこにこと」という擬人化した表現をもちい、山が持つ親しみやすさや、地域全体の優しさを表現しました。「きらめくいのち」は、子どもたち一人ひとりの輝きとその可能性、そして様々な白石の自然・生命を山が静かに見守っている姿を表しています。

2. 白石ぜんぶが 学び舎だ 希望がうまれる みんなのふるさと

白石町全体を学びの場とし、子どもたちが地域全体の支えの中で成長していく姿を描きました。「希望がうまれる」というフレーズでは、白石町が未来を育む場所であり、地域の力で子どもたちが希望を見つけ、歩んでいけることを強調しています。ふるさとが持つ温かさと可能性を表現しました。

3. 有明の海になって 金色に輝こうよ 出会いの宝物 きみと 明日へ渡せますように

有明海の金色に輝く情景を、子どもたちの成長や未来への希望に重ねています。「出会いの宝物」という言葉には、一つになる学校への期待や、子どもたちが出会いや学びを通じて得たものを未来へ受け渡していくという願いが込められています。このフレーズでは、白石町の自然と人々の絆が生む豊かさを表現しました。

4. みどりの大地 歌いながら わたしをぼくを はげましてる

「みどりの大地」という表現で、白石町の自然豊かな環境が子どもたちを励ます存在として描かれています。「歌いながら」という言葉から、自然の持つ生命力や調和を感じられるように工夫しました。

5. 地球のぜんぶが ステージだ 歴史のバトンを こころに灯して

白石町で培った力を持ち、子どもたちが地球規模で活躍する姿を描きました。「地球のぜんぶがステージだ」というフレーズには、白石町での学びが広い世界へ繋がっていく可能性が込められています。「歴史のバトン」では、地域の伝統やこれまでの歩みを未来へ繋ぎ、子どもたちがそれを心に灯しながら新たな歴史を刻んでいく姿を表現しました。

6. 有明の空になって にじ色で手をつなごう

学ぼう 幸せのリボン未来に渡せますように

「空」は、広がる未来と希望の象徴です。「にじ色」という言葉で、多様な個性や可能性を持つ子どもたちの姿を描きました。「手をつなごう」という呼びかけで、助け合いながら成長していくことの大切さを強調しています。また、「幸せのリボン」には、子どもたちが学びの中で得た豊かさを人々と分かち合い、それを未来に繋いでいく願いを込めました。

7. 有明の風になって 世界に吹きわたれ

「風」は、自由に動き、運び、広げるといった、力強いイメージを持っています。「世界を吹きわたれ」というフレーズでは、有明から世界へと希望を届け、子どもたちの可能性が広がっていく様子を表現しています。このフレーズは、エンディングに向けて歌全体のスケール感を広げる役割を果たしています。

8. 笑顔の贈り物 きみと 明日へ 渡せますように

「笑顔の贈り物」というフレーズには、子どもたち一人ひとりが持つ温かさや思いやりが、他者にとって大切なプレゼントになるという思いを込めました。「きみと」という言葉で、子どもたちが仲間と共に支え合い、希望を未来へ繋いでいく姿を描いています。「明日へ 渡せますように」という結びの表現は、これまでの経験や絆を次世代に引き継ぎ、明るい未来を築いてほしいという願いを込めています。

全体について

この校歌では、白石町の自然と人と人のつながりを中心に、地域から世界へ広がる未来への希望を描きました。なるべく多くのフレーズに、アンケートの言葉を反映し、子どもたちへのエールを織り交ぜました。ふるさとへの愛情が育まれる歌詞を目指しました。

また、「小学校」という言葉を入れないことで、有明小学校から広がる「町の歌」としても、みなさんで歌っていただける歌になりました。この歌が、地域のみなさまの心と、未来を繋ぐ一つのきっかけになることができれば、幸いです。

弓削田健介